

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第311号(平成21年12月2日発行)

=====

(RPPC 活動予定表)

12/3 第15回 幹事会

13:30～ (財)WAVE 会議室

12/16 調査・研究部会 汚染土壌事業化分科会

14:30～ (財)WAVE 会議室

=====

(RPPC からのお知らせ)

リサイクルポート推進協議会主催

「平成21年度 リサイクルポートセミナー」開催のご案内

当協議会では、リサイクルポートに関連する最新情報の共有を図るとともに、推進協議会活動を広く一般に啓発することを目的とした「リサイクルポートセミナー」を下記要領にて開催致します。

今回のセミナーでは、リサイクルポートに関連しました法令や制度などの改訂・見直し等の状況につきまして講演をお願いしております。

また、「行政報告」といたしまして、最新のリサイクルポート施策についての報告も予定しております。

なお、会員以外の方も参加することが出来ますので、ご多用中のところとは存じますが、関係者お誘い合わせの上ご参加下さりますよう、ご案内を申し上げます。

締切を過ぎましたが、残席に多少の余裕がございます為、引き続きお申し込みを受け付けております。参加ご希望の方は添付の申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

記

開催日時:平成21年12月14日(月) 14:00 開会

場 所:九段会館

講 演:「廃棄物制度の見直しとリサイクルポート」

講師:鳥取環境大学サステイナビリティ研究所長

環境マネジメント学科教授 田中 勝

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会 部会長

廃棄物処理制度専門委員会 委員長

「土壌汚染対策法の改正と運用について」

講師:清水建設株式会社

エンジニアリング事業本部

土壌環境本部 技術部長 田澤 龍三

行政報告:「リサイクルポート施策について」

国土交通省港湾局 国際・環境課

以上

【事務局】

自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム
キックオフシンポジウムのお知らせ

このたび早稲田大学を中心としました産学官連携の「自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム」を発足を祈念した「キックオフ・シンポジウム」を開催する運びとなりましたので、ご案内を添付ファイルにてお送りいたします。何かとご多忙の時期かと存じますが、皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げております。

ご参加いただけます際は、添付ファイルの申込書にご記入の上、下記担当者までメールもしくはFAXにてご返信くださいますよう よろしくお願いいたします。

記

趣旨

添付ファイルをご参照ください。

開催日時・会場

平成 21 年 12 月 10 日(木) 13:30～16:40

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 27 号館(小野梓記念館)地下 2 階

主催：早稲田大学環境総合研究センター、株式会社早稲田環境研究所、
日本自動車リサイクル部品販売団体協議会グリーンポイントクラブ、
株式会社地球健康クラブ

共催：早稲田大学循環型環境経済社会共創システム研究所、
循環型経済社会推進機構

次第

【開会挨拶】13:30～13:40

小野田 弘士 早稲田大学環境総合研究センター 准教授
株式会社早稲田環境研究所 代表取締役

【来賓挨拶(調整中)】13:40～14:00

【講演】14:00～15:00

自動車アフターマーケットに関わるこれまでの研究成果と展望
～自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム発足の意義～

小野田 弘士

【講演】15:10～15:50

CO2削減効果の数値化を活用した自動車リサイクル部品の普及促進について
～グリーンポイントシステムの現状と展望～

日本自動車リサイクル部品販売団体協議会グリーンポイントクラブ

代表 清水信夫

【講演】15:50～16:30

エコ・ユーザー育成に向けて～環境に配慮した地域工場～

株式会社地球健康クラブ 代表取締役 有賀博之

【閉会挨拶】16:30～16:40

小野田 弘士

当件に関する申込み・問合せ(連絡)先

自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム運営事務局

(株式会社早稲田環境研究所内) 担当 市来(いちき)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-22-3 早稲田大学19-3号館

早稲田大学インキュベーションセンター11室

TEL/FAX:03-5272-6326 E-mail: info@e-wei.co.jp

申込方法

お申し込みは、E-mail: info@e-wei.co.jp もしくは、FAX:03-5272-6326 にお願ひ致します。申し込み締切りは、平成21年12月8日(火)17:00です。(本シンポジウムの参加費は無料です。)

=====

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

1. 国土交通省港湾局、リサイクルポートの検討業務を予定
2. 国土交通省港湾局、維持管理技術の評価検討へ
3. 国土交通省成長戦略会議の第3回会合を開催

=====

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

1. 国土交通省港湾局、リサイクルポートの検討業務を予定

国土交通省港湾局国際・環境課は今年度、循環型社会形成基本計画に基づく静脈物流システム
制度化検討業務を実施する。リサイクルポートを通じた循環資源の効率的な輸送システムについては、

平成 18 年に「循環資源社会形成促進のための海上輸送円滑化検討委員会(委員長・永田勝也早稲田大学教授)の提言により、21 年度を目標に課題解決に向けた研究活動や社会実験などが行われてきている。今年度行う検討業務は、これまで実施してきた研究活動内容をチェックし、来年度以降の取組に向けたレビューを行う。港湾局では、調査結果も踏まえ、港湾管理者や民間企業(3セク)への助成制度の新たなあり方なども検討し、海上輸送を通じた静脈物流システムの充実強化を図っていく。

海上輸送による静脈物流システムの拠点となるリサイクルポートは現在 21 港が指定されており、港湾管理者とリサイクル産業、輸送企業らが連携し、各地で発生する循環資源を有機的に結びつけて、循環資源の有効利用につなげている。

【港湾空港タイムス】

2. 国土交通省港湾局、維持管理技術の評価検討へ

国土交通省港湾局は「港湾構造物の維持管理技術向上のための技術評価検討」を今年度実施する。今後需要が増えてくる維持管理分野に関わる点検診断技術や補修に関わる工法等について調査し、得られた成果を直轄港湾施設の効率的な維持管理調査・補修に活かしていく。

港湾の直轄施設については維持・更新費の最小化を図るため、予防保全的な維持管理方策として、施設ごとに維持管理計画を策定することになっている。しかし、点検診断や改良・補修工事に関する維持管理技術についてはその手法が多様化し、複雑かつ高度化している。このため港湾局では、調査手法や補修工法の洗い出しを行って整理し、経済的で効率的な実施に役立てる。

【港湾空港タイムス】

3. 国土交通省成長戦略会議の第3回会合を開催

国土交通省成長戦略会議(座長・長谷川閑史武田薬品工業代表取締役)の第3回会合が 11 月 26 日に開催され、国際や観光をテーマに委員 3 名からプレゼンテーションがあった。開催にあたって前原国土交通大臣は、我が国の厳しい財政事情から大きな財政出動を伴う成長戦略を描くのは難しく、民間の活力や海外展開を進める中で、成長戦略の方向を打ち出してほしいと要請した。同成長戦略会議では設置した 4 分科会の議論も踏まえて年明けの 2～3 月に各分野の成果について議論し、5 月に最終報告をまとめて 23 年度要求に反映していく予定。

26 日のプレゼンテーションでは、国際関係のテーマに関連し、建築家の大江匡氏が、「日本の都市開発で培ってきた技術力・計画力が海外で必要とされている」として、高速鉄道、地下鉄技術、上下水道システム、港湾インフラ等をあげた。またこうした売り込みには国としてのバックアップが重要になるとして、国土交通省関係海外関連団体を統廃合し、(仮称)海外都市開発機構の設立を提案した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC広報部会

部会長:本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員:藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当:首藤、吉野、大田

URL:www.rppc.jp E-mail:rppc@wave.or.jp

会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたら
ご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####